

第30回数学史シンポジウム

標記の研究集会を下記の要領で開催しますので、ご案内申し上げます。

世話人 三宅克哉（津田塾大学 数学・計算機科学研究所）
佐藤文広（立教大学、津田塾大学 数学・計算機科学研究所）
中屋敷厚（津田塾大学 数学科）

日程：2019年11月9日（土）、10日（日）

場所：津田塾大学5号館（AVセンター棟）5206教室

プログラム

11月9日（土）午前

9:30 - 10:10 長田 直樹

漸近冪級数の起源 - ニュートンの無限級数 -

10:15 - 10:55 野村 恒彦

ジョージ・ピーコックの “Report on the recent Progress and present State of certain Branches of Analysis” (1833) について

11:05 - 11:45 飯高 茂

友愛数とその平行移動

11:50 - 12:30 神谷 徳昭

ある視点からの Nathan Jacobson について - 非結合的代数系を中心にして -

11月9日（土）午後

14:00 - 14:40 堀井 政信

Polytechnique et les mathematiques : ombres et lumieres
(ポリテクニクと数学：光と影)

14:45 - 15:25 高橋 鋼一

デルタ18面体の非存在について

15:25 - 16:00 ティータイム

16:00 - 16:40 鈴木 真治

文明開化のアクチュアリーたち

16:45 - 17:25 但馬 亨

『プロレゴメナ』にみるカント的数学思想と自然哲学の相関性

(懇親会)

11月10日(日) 午前

- 9:30 - 10:10 田中 紀子
戦時下の特別科学組
- 10:15 - 10:55 河野 敬雄
陸軍は何故 probability を「公算」と訳したか一つの仮説
- 11:05 - 11:45 植村 栄治
ガウス確率論の誕生
- 11:50 - 12:30 難波 莞爾
楕円曲線と η -関数の積

11月10日(日) 午後

- 14:00 - 14:40 宮田 義美
『孫子算経』の「今有物不知其數三三之剩二五五數之剩三七七數之剩二 問物幾何」
はどのように西洋に伝播したか?
- 14:45 - 15:25 三富 照久
エウクレイデス「原論」に素因数分解は書かれているか
- 15:30 - 16:10 赤堀 庸子
デデキントへの関数論の影響 (1)